

石巻校活動報告

同窓会長 佐藤 嘉信（九期会）

石巻校同総会で年間を通じて主催、後援、協力する主な行事は、

- ① 石巻校同窓会及び新入会員（13期生）の歓迎会
- ② 会報の発行
- ③ 健康づくり大会
- ④ 文化祭
- ⑤ パークゴルフ大会



等があります。その他、各期生毎に研修旅行、忘年会、新年会などがありますが、それぞれの行事に対する取り組み方が非常に好ましいと思います。

どうしてかと独りよがりの結論ですが、学園に在籍した人達はその生活範囲が広い事も一因と思います、会社員や公務員、教職に主婦等さまざまです、従ってその人の体験から培われないき方、意見も多様です。

この方々が何の利害関係も無く学園の基本的な行事に参加し自由な発想で同じ時間を過すのには、共通な考えを持つこと必要だったと思います。底流には協力して楽しく事業を達成しようという意識があったと思います。

話題は少し外れますが石巻体育協会が3月から非営利団体として認可されました、NPO法人化した経緯は体育協会への市からの補助金が毎年10%づつカットされ続けた事にも一因があります、体協だけがカットされたわけではなく、色々な団体が10%づつカットされてきました、石巻市体育協会では行政からの補助金がカットされ続けると先行きは補助金がゼロか、それに近い扱いなる事を予見して法人化する事に踏み切ったものです。

行政からの補助金カットは国の財政が悪いから仕方なくカットしているという事が理由ですが行政側の行事の持ち方、職員の行事への取り組み方も変わって来たと思います、宮城ヘルシースポーツ大会は県内教育事務所管内で所管する行事ですがこれとは別に宮城シニアスポーツ大会が石巻社会福祉協議会で主催するスポーツ大会としてあります。

両大会共に競技種目は同じ3種類です、宮城ヘルシーの場合は教育事務所出張所の公民館主管で、シニア大会は社会福祉協議会の主管でした。

ヘルシー大会は、大会の日程は決まっていますが練習の日程や用具の手配は各支部の体育協会がやることになりました。

シニア大会は社協の各支部で主管し老人クラブを動員して練習の日程や用具の調達を行なっていますが、両大会、主管する組織が違うとこんなにも異なるものかと痛感しました。

スポーツの内容は同じなのにシニア大会は練習の日程や用具の調達、参加選手の輸送、昼食なども手配してもらえたのに、ヘルシー大会は体協各支部へ丸投げの委託です、この事はどう解釈したら良いのか、今もって結論を出しかねています。

社会福祉協議会は町村合併以前は毎戸1,200円の年会費を納めていますが各支所の社協職員の態度は腰が低く気さくで好ましいと思います。

県の社会福祉協議会が主管する宮城いきいき学園はそこで働く職員や学園の教授など関係者の意識が社会福祉の基本を体現しているからなのかと実感しています。